

リフォーム前後の写真



【トイレ】



【トイレ】



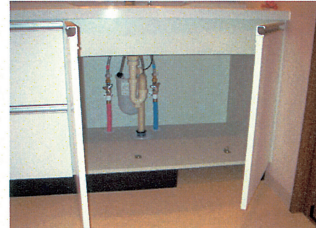
【浴室】



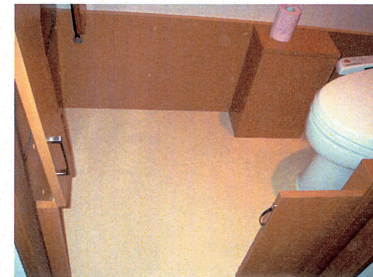
【バルコニー出入り口】



【玄関】



【洗面台下部】



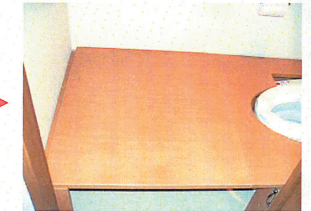
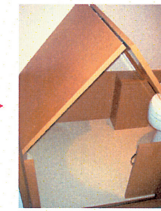
【トイレ】



【トイレ】



【トイレ(移乗台可動)】



【トイレ(移乗台可動の動き)】



【浴室】



【バルコニー出入り口スロープ】



【玄関スロープ】



【洗面台下部①】

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

【動機】ご本人 S・K様 42歳 男性 家族関係 妻と双子の子供と4人暮らし。要介護 介護認定外 障害者手帳1級 疾患 16歳の時、バイクの事故で脊髄損傷(1年間首を固定して入院) 四肢麻痺になる。完全麻痺。両上肢は腕力があるが、握力0、完全に指が開かない ADL 車椅子による移動(屋外・屋内ともスポーツ型) 車椅子上でのADLは自立 福祉用具の使用等でトイレ・入浴(シャワー)面は自立して行っている。(介助不要) 車での通勤しており、プライベートでは車椅子でのバスケットをしている。 腕力があり10cm程度の段差は車椅子でも乗り越え可能 【要望内容・設計工夫】○トイレは可動式の移乗台 H=49cmでやわらかく幅高便座10cmを設置して調整(移乗台より便座がH2~3cm高い) ○浴室は移乗台使用 H=52cm ○浴室入口の扉を変更したい。(引戸も検討) ○洗面台はひざが入るように加工したい。○玄関とベランダの段差解消したい。○車椅子が接触しても心配ないように壁の保護希望	【施主の感想】○トイレの使用・浴室使用が動きやすく1人で出来る。(可動材もスムーズ・強度の問題もない)○折れ戸の外折れも、開閉しやすく問題なかった。○玄関のスロープが内装に合った出来栄で感激○壁面の化粧板もデザイン的にきれいで喜んで頂いた。 【経済的効果】現在のサービス利用はないが改修しない場合の家族の負担を考えると¥5,840/1.5時間×30日=¥175,200(サービスの仮説)年間=¥2,100,000 訪問介護(身体介護)1時間~1.5時間を毎日受けた場合 【身体的効果】本人の自立度⇒ADLの維持 【生活改善効果】新しい環境・動作になれるか不安だったが...新居及び改修部分の使用にも慣れ、生活も落ち着いている。体力~筋力の向上の為、趣味のバスケットを開始された。⇒QOLの向上 【施主の声】S・Kさんのお話の中で、高齢者の住宅改修等の紹介や情報は最近よく見受けられますが、私たちの様な障害者の住宅改修の内容の紹介はまだ少ないので、「もっと紹介してほしい!」とご意見をいただきました。
--	--

性能向上の特性 障害者の自立した生活	特に配慮した住宅性能 トイレを、障害者である本人とその他の健常者のご家族(奥様・お子様)が双方快適に使用できるための可動式移乗台の設置
-----------------------	--

データ					
所在地	東京都江戸川区	築後年数	0年	施工期間	6 日間
該当工事面積	10 m ² / 総工事床面積	10 m ²	該当部分工事費	80 万円 / 総工事費	80 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満: 2 人 / 65歳以上: 人 / 15歳未満: 2 人 / ベット:				
設計会社	パナソニック電工エイジフリーショップ(株)	担当者	吉澤 好子		
施工会社	同上	担当者	同上		

リフォーム前

リフォーム後

